

## 第89回麻布獣医学会 一般演題10

# 紙タオルによる衛生的な手拭き方法について

野田 智子, 松井 信太郎, 渡邊 重行, 森 健

静岡県東部健康福祉センター

## 1 目的

食中毒予防の基本は、適切な手洗いを行うことである。しかし、手洗いの仕上げ動作となる紙タオルによる手拭き方法に、手指を再汚染させている要因があることを確認した。

そこで、従事者の手洗い環境と一連の動作による汚染危害の確認と再現実験により、衛生的な紙タオルによる手拭き方法を検討し、今後の衛生監視指導に役立てることを目的とした。

## 2 調査内容

- (1) 各市町から任意に選んだ小中学校給食施設（93施設）から、手洗い設備及び従事者に関する調査を行った。（調査期間：平成24年4月～5月）
  - ア 手洗設備の大きさの確認（全施設）
  - イ 手指及び前腕の清浄度検査（56施設）
  - ウ 手拭き方法の確認（73施設）
  - エ 手洗い中の動作の確認（全施設）
- (2) 手指、前腕等に付着した水滴を紙タオルで拭く動作を視覚的に確認できるよう、擬似汚染物として絵の具を、手指（白色）と前腕（黒色）へ塗布し、従事者の行っていた手拭き方法を再現し、手指及び前腕への絵の具の広がりを確認した。
- (3) 紙タオルによる理想的な手拭き方法を検討した。

## 3 結果および考察

集団給食施設の調査により、十分な容量の手洗い設備の導入されている施設が約半数を占めており、定期的な衛生指導と自主管理体制の取り組みにより、手洗いの方法は適正に行われていることが確認できた。しかし、調理中の手洗い後における手指と前腕の清浄度検査を行ったところ、手指と前腕ともに汚染度が高い傾向にあり、従事者の手洗い時及び紙タオルの手拭きの動作を観察したところ、汚染を招くおそれのある要因も確認された。

そこで、実際に従事者が行っていた紙タオルの拭き取り動作を再現実験することにより、手洗い後の紙タオルによる拭き取り動作の及ぼす影響を検証し、その要因を明らかにさせることができた。さらに、紙タオルによる理想的な手拭き方法の検討により、食品への汚染を最小限にできる衛生管理手法に関する知見を得ることができた。

今後は、集団給食施設等の衛生管理講習会等を通じて具体的な調査データを示しながら啓発し、衛生管理意識の向上を図るとともに、科学的な根拠に基づいた衛生指導を行っていきたい。